

07258P-00

みんなが欲しかった!

はじめの**一歩**

みんなが欲しかった!

中小企業  2018年度版

診断士

日本版MBA 資格

はじめの一歩

フルカラー

TAC中小企業診断士講座・編著
滝澤ななみ・編集協力

これで
合格が見える!

苦手科目も
こわくない!

本気でやさしい入門書

イラストでよくわかる オリエンテーション + 入門講義

TAC出版
TAC PUBLISHING Group

は し が き

中小企業診断士資格の学習をすることによって、どのような業種でどのような職種についている方であっても、実務で役立つ有益な知識を得ることができます。そのためか、近年、中小企業診断士資格は、ビジネスマンに人気のある資格のひとつとなっています。

しかし、その学習内容は多岐にわたるので、資格取得へと踏み出すのに勇気がいることも確かです。

本書は、**初めて中小企業診断士試験にチャレンジしようとする方**のために、その一歩を踏み出しやすくなることを願って作成しました。

「オリエンテーション編」では、資格や試験の概要、学習プランなどを紹介しています。「入門講義編」では、各科目の基本的事項や興味深い論点などを説明しています。**フルカラーでイラストや板書を豊富に収載**しているので、わかりやすく、スイスイ学習を進めることができるでしょう。

本書をスタートラインとして、診断士試験の合格とその向こうにある新たな目標に向かって、第一歩を踏み出しましょう。

2017年8月

TAC中小企業診断士講座

合格までの活用法

スタート

本書



はじめの一步

合格への第一歩となる書籍です。「オリエンテーション編」では、試験の概要や科目ごとの特徴、学習プランなど、合格までがイメージできる情報を掲載。「入門講義編」では、診断士試験7科目の代表的論点を説明しています。フルカラーの豊富なイラスト、板書で、スイスイ学習が進みます。



スピードテキスト (全7冊)

本格的な学習の基本となる科目別のテキストです。TAC中小企業診断士講座の講師陣が、合格に必要な知識に絞って執筆しています。理解を助ける豊富な図表・イラストや、過去5年分の1次試験出題表示入り。2次試験まで使用できます。スピード問題集と併用することで、知識がどんどん定着します。



スピード問題集 (全7冊)

スピードテキストに準拠した科目別のオリジナル問題集です。本試験問題と同じ形式ですが、本試験より少しやさしめの問題で構成しています。各問題の解説にテキストの該当箇所を表示しているので、テキストと問題集の反復学習に最適です。

出題形式の確認としても



第1次試験 過去問題集 (全7冊)

過去5年分の本試験問題と丁寧な解説を収載した科目別過去問題集です。「重要」「参考」のマークで、メリハリをつけた学習が可能です。学習初期から、本試験ではどんな論点がどんな形で出題されるのかを確認しながら、学習を進めるのが効果的です。

TAC出版では、学習段階に応じてさまざまなアイテムを用意しています。
ここでは、各アイテムの合格までの活用方法をご紹介します。

第1次試験

第2次試験

〈試験直前までの復習に〉



要点整理 ポケットブック (全2冊)

第1次試験の試験日程と同じ科目順の要点整理本です。試験直前の知識の確認にも便利な赤シートつき。ポケットサイズで、電車の中や空き時間などを利用した復習に便利です。同内容のPDF版もあります（ご購入はTAC出版書籍販売サイト「Cyber Book Store」より）。

〈弱点補強〉



集中特訓 財務・会計

苦手な方も多い財務・会計について、得点源にできるまで実力を飛躍的に向上させるためのトレーニング本です。TACの模試・答練で使った良問をベースにしており、基礎レベルから2次試験レベルまでの各段階に応じた演習が可能です。



第2次試験 過去問題集

過去5年分の本試験問題を収載。問題本文の読み取りかたから答案作成までの手順を丁寧に解説しています。巻末には、口述試験の問題例も収載。抜き取り可能な解答用紙つきです（「Cyber Book Store」にて解答用紙ダウンロードサービスもご利用いただけます）。

〈対応力強化〉



集中特訓 診断士第2次試験

第1次試験と比較して出題範囲が広く、対策が取りにくい第2次試験を克服するためのトレーニング本です。本試験と同じ4つの事例を4回分、計16問を収載。本書でのトレーニングにより2次試験への対応力がぐんとアップします。



本書の効果的な学習法

1 オリエンテーション編で試験、資格について知りましょう！

まずは**スタートアップ講座**からはじめましょう！ 中小企業診断士の仕事内容、試験の実施日程や試験問題の形式、さらに合格までにどのような勉強をしていくのかが、イラストとともにわかりやすく掲載されています。

2 入門講義編で診断士試験の学習内容の概要を学びましょう！

中小企業診断士試験で学ぶ全科目の入門講義に進みます。主要なテーマで、かつ、知識理解のための土台となるものを、わかりやすくまとめています。各科目の勉強がはじめての方でも無理なく読めるよう、やさしく身近な言葉を使った本文で、図解も満載。楽しく読み進めていくことができます。知識確認として、「過去問にチャレンジ！」を解き、実際の試験問題も体感してみましょう。

診断士試験でこの科目を学習するのはなぜなのか、まずは、そこからスタートです！

●板書
重要ポイントが
一目瞭然です！

第1章 経済学・経済政策

診断士試験で経済学を学習するのはなぜ？

企業経営を行ううえで、内部環境の分析と判断、外部環境を正しくとらえることも重要な要素のひとつとなります。ただ一口に外部環境といっても、そこには、顧客ニーズの変化や競合他社の動向、また新技術の開発や法改正など、大小さまざまな要素が影響し合ひ、近年その変化はますます速さを増しています。

さまざまな外部環境の中で、経済状況の変化というものも、企業に影響を与える大きな要因のひとつと考えられます。そこには、一個人や企業という小さな範囲から、大きくは市場全体や国全体、さらには国と国との間など、さまざまな規模で経済活動が行われています。そして、その大小問わずすべての結果として現状の経済が形作られているわけです。

このような経済が、どのようなシステムで成り立っているのかを分析することが、経済学が目指すところです。中小企業診断士として、企業の経営者が正しい経営判断を下すための用意をする際に、外部環境である経済状況の変化を正しく認識することは非常に重要であるといえます。経済学を学ぶことがこの前提は、そこにあります。

ただ、実際の経済というのはそれこそ無数の要因が複雑に絡み合って成立しているものであり、そのひとつひとつを細かくは実際には不可能です。そこで、経済学では、この複雑に入り組んだ実態経済に、いくつかの前提（仮定）を定めます。そこで、なるべくシンプルなモデルに落とし込むことで、実際の経済を正しく理解することができ、学習を進めるなかで、経済学における仮定が実際の経済と近いように感じることがあるかもしれませんが、それはある程度仕方のないことなのでと理解してください。

Section 1 国民経済計算と主要経済指標

1 GDP

テレビのニュースや新聞などで、GDPという言葉を聞いたことがあると思います。景気の良し悪しを示す指標として一番馴染みがあるのがこのGDPではないでしょうか。GDPの変化率を経済成長率といい、プラスなら景気が上向いている、マイナスなら景気が下向いている、と判断されるひとつの材料になっています。

1 GDPってどんなもの？

そもそも、GDPとは何でしょうか。

GDPとは？
 $GDP = Gross Domestic Products$ の略（日本語では、**国内総生産**）
国内で行われた生産の総額を表している

より厳密に定義すると、
GDP = ある国において一定期間内に生み出された付加価値の合計額
GDP → 国内のすべての産業の付加価値を足し合わせたもの
↓
生産額から原材料などの中間投入額を差し引いたもの

🔑 過去問にチャレンジ！ 平成28年度第4問A
国内総生産には、居住者である外国人の所得は含まれない。

✕ 日本国内で発生した所得は、日本人が受け取っても外国人が受け取っても日本の国内総生産（GDP）に含まれる。なお、日本に居住している外国人の所得は、日本の国民総生産（GNP）（または、国民総所得（GNI））には含まれない。

●過去問にチャレンジ！
入門講義を読んだだけですぐ解ける問題を厳選しています！

目 次

はしがき.....	(3)
-----------	-----

オリエンテーション編	1
------------------	---

入門講義編

第1章 経済学・経済政策	25
第2章 財務・会計	71
第3章 企業経営理論	123
第4章 運営管理	167
第5章 経営法務	205
第6章 経営情報システム	257
第7章 中小企業経営・中小企業政策	283

索引.....	305
---------	-----

本書に記載されている会社名または製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
なお、本書では、各商標または登録商標については®およびTMを明記していません。

オリエンテーション編

中小企業診断士はじめての一步

スタートアップ講座

中小企業診断士の世界へ
みなさんを招待します!!

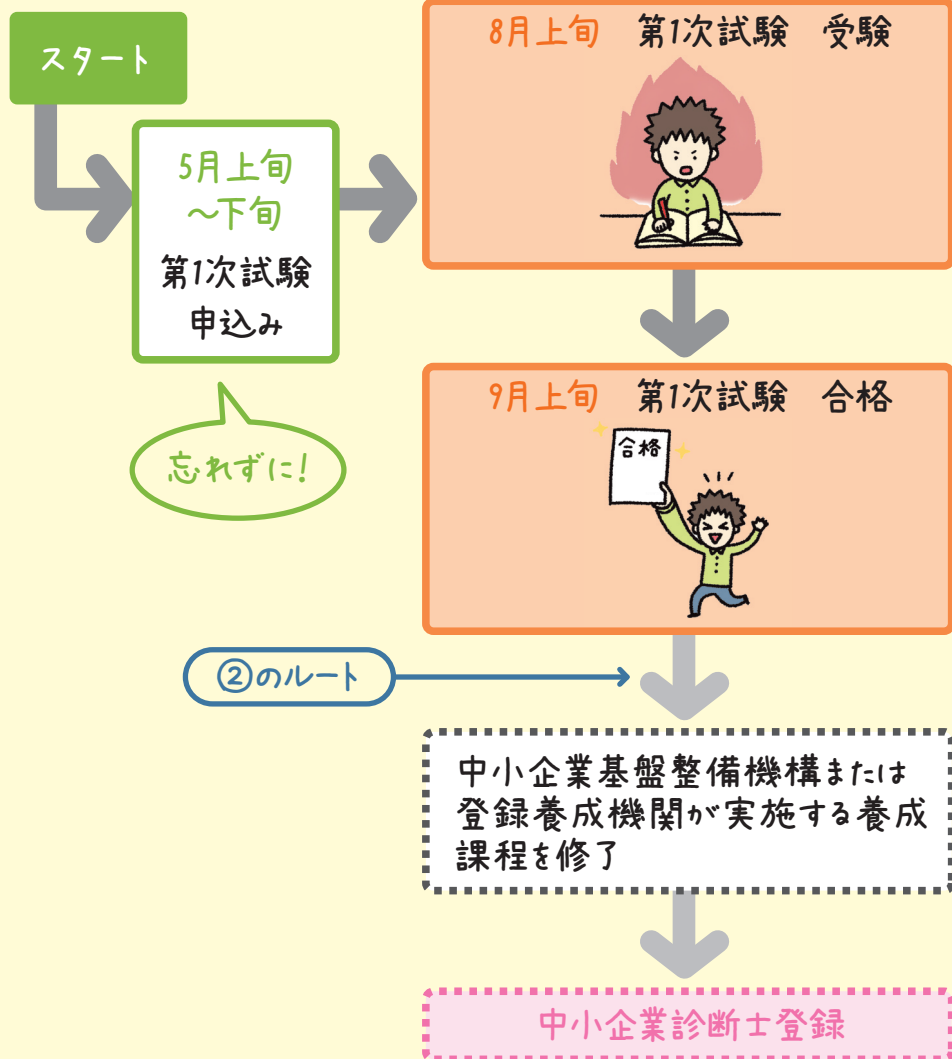


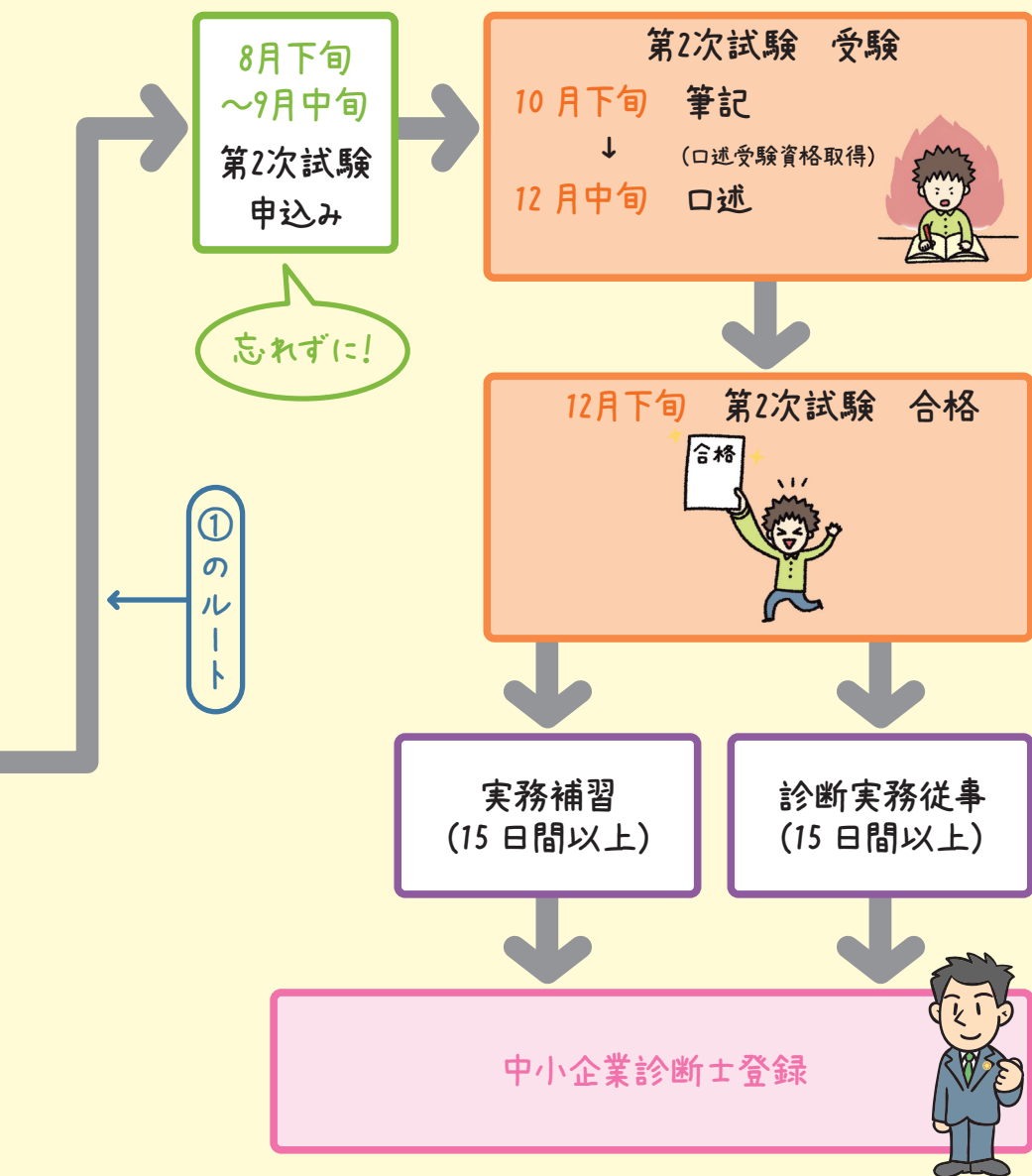
1 中小企業診断士になるまで



中小企業診断士になるには、まず、中小企業診断協会が実施する第1次試験に合格しなければなりません。第1次試験に合格したら、次の2つの方法のいずれかにより、中小企業診断士として登録ができます。

- ①協会が実施する第2次試験に合格して、3年以内に実務補習を修了するか診断実務に従事する。
- ②中小企業基盤整備機構または登録養成機関が実施する養成課程を修了する。





※試験日程の詳細、実務補修、診断実務については、中小企業診断協会のホームページで
ご確認ください。

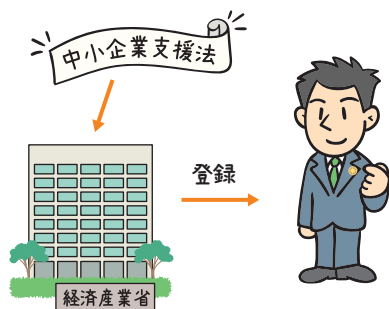
http://www.j-smeca.jp/contents/007_shiken.html

2 中小企業診断士とはどんな資格？

「中小企業診断士」ってどんな資格なんだろう、資格をとるとどんなメリットがあるの？ こんな数々のギモン点にお答えします。

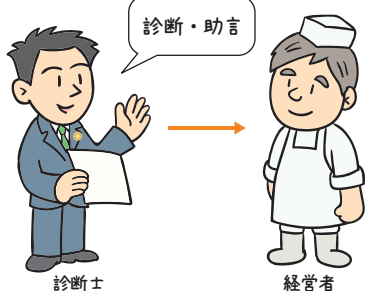


国が認定するプロの経営コンサルタント



中小企業診断士とは、中小企業支援法という法律に基づいて、**経済産業大臣が登録する国家資格**です。

国家資格には、「職業独占資格」と「名称独占資格」があり、診断士は**名称独占資格**にあたります。



資格がなくても経営コンサルティング業務はできますが、資格がないと「中小企業診断士」を名乗ることはできません。

診断士には、**創業支援、企業が抱える問題点・課題の把握、経営戦略の助言**など、さまざまな観点から企業を支援することが求められます。

近年、大注目の人気資格！



中小企業診断士資格は、近年、**ビジネスパーソンに人気の資格として注目**されたり、大企業でも取得を推奨していますが、それはなぜでしょうか。



多くの資格は、法律や会計など、専門分野に特化していますが、診断士資格は、法律、会計、経営戦略、IT、経済、マーケティング、物流など、**ビジネスに関する分野を全般的かつ網羅的に学習**します。



このような幅広い分野を習得すれば、社内での**昇進や転職において大きな武器**となるため、ビジネスパーソンにとって人気の資格となっています。

また、**MBAと同様の知識を得ることが**できるため、大企業でも評価が高い資格なのです。

5 科目ごとの特徴をざっくり知ろう

ここでは、試験の日程順に、各科目の特徴を説明します。



1 次試験（1 日目）

1日目	2日目
経済学・経済政策	経営法務
企業経営理論	経営情報システム
財務・会計	中小企業経営・中小企業政策
運営管理	

1 次試験の 1 日目に行われるのは、この 4 科目です。

順番に各科目の内容と特徴を見ていきましょう。

①経済学・経済政策

試験時間 60分

問題数 23問程度

出題領域

ミクロ経済学 マクロ経済学

1 科目目は、経済学・経済政策です。

ミクロ経済学：一企業、一消費者など個々の経済活動がどのような影響を与えるのかを学習します。

マクロ経済学：一国全体や国同士の経済活動に焦点をあて、政策などがどのような影響を与えるのかを学習します。

特徴

- ◆年度によって難易度の差が大きい

攻略法

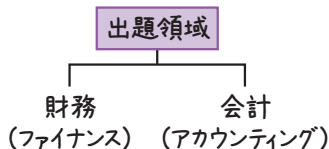
- ◆グラフの読み取り方を理解しよう!
- ◆政府や日銀の政策にも目を向けよう!

グラフを理解するためには、自分で書いてみるのが有効です。

②財務・会計

試験時間 60分

問題数 20問程度



2科目目は財務・会計です。

財務：企業の資金面での意思決定をするための理論（意思決定会計、企業財務論など）を学習します。

会計：企業の状況を把握するための計算技法（各財務諸表の作成プロセス、経営分析など）を学習します。

特徴

- ◆1次試験では電卓は使用できない

攻略法

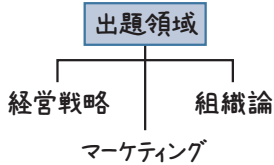
- ◆問題演習を繰り返して解法を身につけよう!

問題演習の際には、むやみに解くのではなく、何のために解いているのかを意識するようにしましょう（たとえば、論点整理のため、プロセス理解のため、など）。

③企業経営理論

試験時間 90分

問題数 33問程度



3科目目は企業経営理論です。

経営に興味を持っている方であれば、興味がわく領域です。

特徴

- ◆単に用語の意味を問うような問題はほとんどない
- ◆問題文(選択肢)がかなり複雑

攻略法

- ◆過去問や問題集で出題パターンを確認しながら学習しよう!

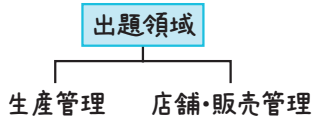
興味深い内容のわりには得点しにくい科目ですが、出題パターンを確認して知識を適用できるようにしましょう。

また、繰り返し問われる頻出論点は必ず押さえましょう。

④運営管理

試験時間 90分

問題数 43問程度



4科目目は運営管理です。

生産管理：生産（ものづくり）現場のマネジメントについて、さまざまな生産方式や管理方式などを学習します。

店舗・販売管理：小売業における店舗施設や物流、販売流通情報システムなどを学習します。

特徴

- ◆難易度は比較的安定している

攻略法

- ◆頻出論点を中心にアウトプットで知識を定着!

年度による難易度のばらつきが小さいので、出題頻度の高いところを覚えれば安定して6割以上の得点を狙いやすいです。

1次試験（2日目）

1日目

経済学・
経済政策

企業経営
理論

財務・会計

運営管理

2日目

経営法務

経営情報
システム

中小企業経営・
中小企業政策

1次試験の2日目に行われるのは、この3科目です。

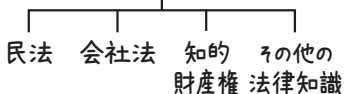
順番に各科目の内容と特徴を見ていきましょう。

⑤経営法務

試験時間 60分

問題数 20問程度

出題領域



5科目目は経営法務です。

企業の経営に関する法律を学びます。

出題の中心は会社法と知的財産権関連で、この2つで5～6割を占めています。

特徴

- ◆対象となる範囲が広いわりに出題数は多くない
- ◆覚える対象を絞り込みにくい

攻略法

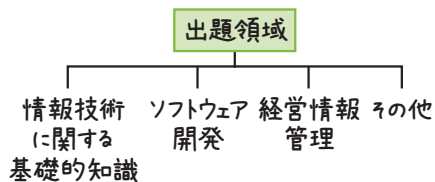
- ◆優先順位を意識して少しずつ知識を増やしていこう!

メインの会社法と知的財産権を中心に、基本的な論点について正確な知識を身につけるようにしましょう。

⑥経営情報システム

試験時間 60分

問題数 25問程度



6科目目は経営情報システムです。

基礎的知識のハードウェア、ソフトウェア、セキュリティ対策などや、ソフトウェア開発の手順、経営情報管理でクラウドコンピューティングなどを学習します。

特徴

- ◆基礎的な論点と応用的な論点がわかり別れている

攻略法

- ◆基礎的な論点をしっかり覚えよう!

アルファベットやカタカナの用語は、機能などの相違点を表にまとめると覚えやすいです。

⑦中小企業経営・中小企業政策

試験時間 90分

問題数 30問程度

出題領域

中小企業経営 中小企業政策

最後の7科目目は中小企業経営・中小企業政策です。

中小企業経営：主に中小企業庁発行の「中小企業白書」「小規模企業白書」から出題されます。

中小企業政策：「中小企業施策利用ガイドブック」からの出題がメインです。

特徴

- ◆出題の題材を特定しやすい
- ◆中小企業政策は頻出論点が比較的はっきりしている

攻略法

- ◆特に政策のほうで得点を確保できるようにしよう！

白書の中小企業・小規模事業者の事業者数、従業員数といったデータや、施策ガイドの中小企業施策について、制度や実施機関など、出題範囲がはっきりしているのので、7科目中で最も覚える対象を絞り込みやすいです。

入門講義編

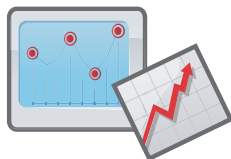
第1章

経済学・経済政策

Section 1 国民経済計算と主要経済指標

Section 2 財市場の分析と IS 曲線

Section 3 貨幣市場の分析と LM 曲線



診断士試験で経済学を学習するのはなぜ？

企業経営を行ううえで、内部環境の分析と同様、外部環境を正しくとらえることも重要な要素のひとつとなります。ただ一口に外部環境といっても、そこには、顧客ニーズの変化や競合他社の動向、また新技術の開発や法の改正など、大小さまざまな要素が影響し合い、近年その変化はますます速さを増してきています。

さまざまな外部環境の中で、経済状況の変化というものも、企業に影響を与える大きな要因のひとつと考えられます。そこには、一個人や一企業という小さな範囲から、大きくは市場全体や国全体、さらには国と国との間など、さまざまな規模で経済活動が行われています。そして、その大小問わずすべての結果として現状の経済が形作られているわけです。

このような経済が、どのようなシステムで成り立っているのかを分析することが、経済学が目指すところです。中小企業診断士として、企業の経営者が正しい経営判断を下すための助言をする際に、外部環境である経済状況の変化を正しく認識することは非常に重要であるといえます。経済学を学ぶことの意義は、そこにあります。

ただ、実際の経済というのはそれこそ無数の要因が複雑に絡み合って成立しているものであり、そのひとつひとつを紐解くのは実際には不可能です。そこで、**経済学では、この複雑に入り組んだ実際経済に、いくつかの前提（仮定）を設定し、なるべくシンプルなモデルに落とし込むことで、実際の経済を読み解こうとします。**

ですので、学習を進めるなかで、経済学における仮定が実際の経済と食い違うように感じることもあるかもしれませんが、それはある程度仕方のないことなのだと理解してください。

また、経済学の大きな特徴として、モデル化の際に数式やグラフを用いることが多くあります。これまで数式やグラフへの馴染みが薄かった方にとっては、初めのうちはとっつきにくい印象をもたれるかもしれませんが、**中小企業診断士試験の合**



格を勝ち取るためには、早くこの数式の扱いやグラフでのとらえ方に慣れることが重要です。本書でもいくつか紹介していますので、考え方や論理の進め方の感覚をつかんでください。

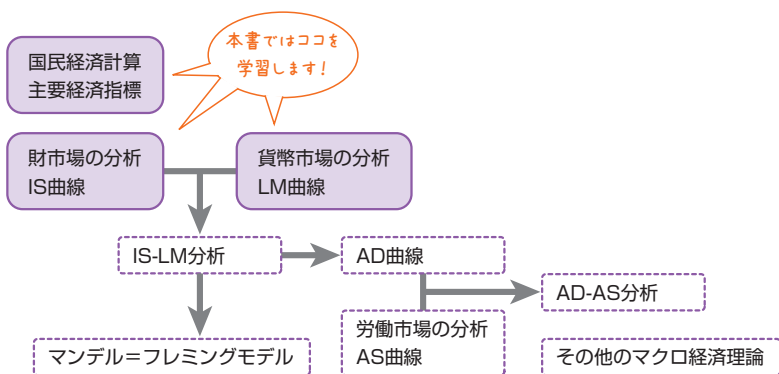
経済学は、大きく分けてミクロ経済学とマクロ経済学の2つに分類することができます。

ミクロ経済学：一消費者や一企業、あるいはその集合である市場全体をテーマとして扱う

マクロ経済学：一国全体や国同士の経済活動に焦点をあてる

本書では、実際のニュースや新聞で馴染みがあり、興味深く、また中小企業診断士試験でも毎年出題されている重要項目の、マクロ経済（GDP、物価指数、財市場と貨幣市場分析）について解説を進めていきます。

マクロ経済学の体系図



国民経済計算と主要経済指標

1 GDP

国内での生産の総額！

テレビのニュースや新聞などで、**GDP**という言葉聞いたことがあると思います。景気の良し悪しを示す指標として一番馴染みがあるのがこのGDPではないでしょうか。GDPの変化率を経済成長率といい、プラスなら景気が上向いている、マイナスなら景気が下向いている、と判断されるひとつの材料になっています。

1 GDPってどんなもの？

そもそも、GDPとは何でしょうか。

板書 GDPとは

GDP=**G**ross **D**omestic **P**roductの略(日本語では、国内総生産)

国内で行われた生産の総額を表している

より厳密に定義すると、

GDP = ある国において一定期間内に生み出された付加価値の合計額

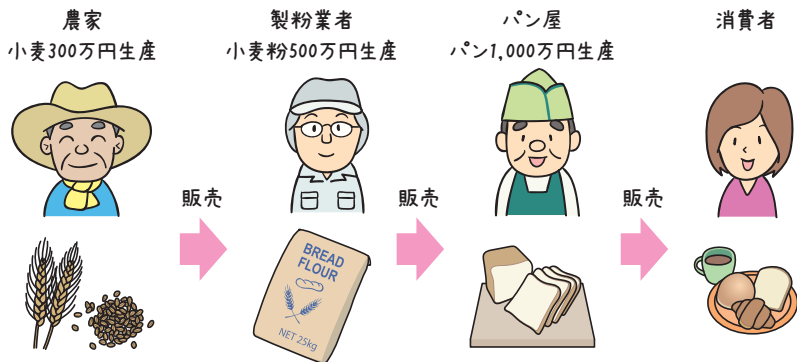
つまり → 国内のすべての産業の付加価値を足し合わせたもの

生産額から原材料などの中間投入額を差し引いたもの

2 GDPを具体例で見てみると

GDPを具体的な例で見てみましょう。農家と製粉業者とパン屋しかない経済を考えてみます。

板書 GDPの具体例



	生産額(販売額)	中間投入額	付加価値
農家	300	—	0 = 300
製粉業者	500	—	300 = 200
パン屋	1,000	—	500 = 500

すべての生産段階での付加価値の合計を求めると、

300万円 + 200万円 + 500万円 = 1,000万円 GDP



この1,000万円というのは、最終消費の額（上の例でいうと、パン屋が消費者に販売した額）と等しくなります。つまり、GDPは最終消費の合計と考えることもできます。

2 GNP

国民の生産の総額!

1 GNPってどんなもの?

GDP（国内総生産）と似た考え方として、GNPがあります。

板書 GNPとは

GNP = Gross National Product の略（日本語では、国民総生産）

GNP = ある国の国民が一定期間内に行った生産の合計額

※日本では現在、GNPに代わってGNI（Gross National Income: 国民総所得）という名称が採用されている

日本で考えた場合、GDPが日本国内で生産された付加価値の総額、いい換えると日本国内で受け取る所得の総額（3の「三面等価の原則」により、付加価値の総額が、生産にかかわった者の所得と等しくなります）を表しているのに対し、GNPは、日本人（日本国民）が受け取る所得の総額を表しています。

したがって、GDPに日本人が海外で得た所得を加え、外国人が日本国内で得た所得を引くことにより、GNPが計算されることになります。

GNP = GDP + 外国からの所得受け取り - 外国への所得支払い

2 具体的な例でいうと

たとえば、海外に駐在する日本人商社マンが生み出した所得は、日本のGDPには含まれませんが、日本のGNPには含まれることになります。また、日本国内に駐在する外国人ビジネスマンが生み出した所得は、日本のGDPには含まれますが、日本のGNPには含まれないことになります。

板書 GDPとGNP

	日本にいる 日本人	日本にいる 外国人	海外にいる 日本人
日本のGDP	○	○	×
日本のGNP	○	×	○

国内じゃないので

国民じゃないので



過去問にチャレンジ！

平成28年度第4問ア

国内総生産には、居住者である外国人の所得は含まれない。

- ✕ 日本国内で発生した所得は、日本人が受け取っても外国人が受け取っても日本の国内総生産（GDP）に含まれる。なお、日本に居住している外国人の所得は、日本の国民総生産（GNP）（または、国民総所得（GNI））には含まれない。

3 三面等価の原則

生産＝分配＝支出！

1 分配面から見たGDP

GDPとは、国内で新たに生み出された付加価値の総額のことでした。企業によって生み出されたこの付加価値は、その後、家計^{*}に賃金として支払われ、企業内に利潤として留保され、政府には税金として支払われることになります。

用語 ▶ 家計とは？



企業・政府と並ぶ重要な経済主体のひとつで、個人や家庭が生活のために
行う金銭による活動の総称のことです。

このように、生産によって生み出されたGDPは、家計・企業・政府などの経済主体に分配されます。このようにしてとらえられたGDPを「**分配面から見たGDP**」とよびます。この「分配面から見たGDP」は、事後的に「生産面から見たGDP」と等しくなります。



この「分配面から見たGDP」は、各経済主体からすると得られた所得と考えられるため、所得面から見たGDPととらえることもできます。

板書 分配面から見たGDP

分配面から見たGDP = 家計の収入 + 企業の利潤 + 政府の収入

2 支出面から見たGDP

分配されたGDPは各経済主体によって、支出として使用されます。このようにとらえられたGDPを、「**支出面から見たGDP**」といいます。

なお、支出を別の面からとらえると、そこには需要が発生しているため、「支出面から見たGDP」を、需要面から見たGDPと考えることもできます。

また、海外との貿易を考えた場合、国内で生産されるモノ・サービスに対する海外の需要も考慮し、「支出面から見たGDP」には、純輸出（輸出－輸入）が含まれることもあります。

板書 支出面から見たGDP



☆家計（消費）

☆企業（投資）

（工場や機械設備等の固定資本的な投資）

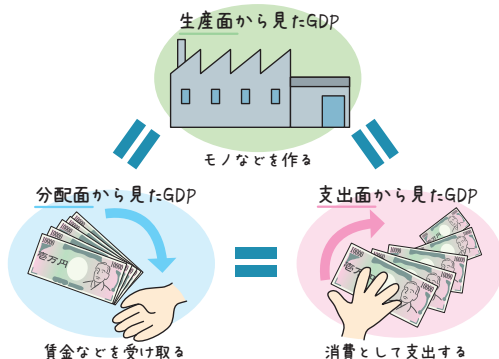
☆政府（政府支出）

（ダムや道路建設などの公共投資）

$$\text{支出面から見たGDP} = \text{消費} + \text{投資} + \text{政府支出} + (\text{輸出} - \text{輸入})$$

以上のように、経済活動は「生産（つくる）」→「分配（受け取る）」→「支出（使う）」という3つの流れでとらえることができます。また、これは同一の価値を異なる3つの側面からとらえたものであり、事後的に、生産＝分配＝支出という関係が成立すると考えることができます。これを**三面等価の原則**といいます。

板書 三面等価の原則とは



三面等価の原則 =

生産面から見たGDP、分配面（所得面）から見たGDP、支出面（需要面）から見たGDPが事後的に一致すること

? 過去問にチャレンジ！

平成20年度第1問改題

次の文章の、AとBに入ることばを答えよ。

生産面から見たGDP、分配面から見たGDP、支出面から見たGDPが□A□に一致することを「三面等価の原則」という。このうち、生産面から見たGDPは各生産段階における□B□の総計に等しい。

A 事後的、B 付加価値

GDPは、一定期間内に各生産段階で新たに生み出された付加価値の総額（生産面から見たGDP）のことをいい、これが各経済主体に分配され、その後各経済主体によって支出される。この3つが事後的に一致することを三面等価の原則という。

4 帰属計算

GDPに含めるものとは？

1 帰属計算とは？

先に見たように、GDPは市場で取引される財・サービスの総額を表しています。しかし、実際の市場での取引に現れなくても、あたかも取引が行われたように記録したほうが、実際の国民経済の姿を正確にとらえられるケースがあります。このような、市場に現れない活動を例外的にGDPに算入させる操作を、帰属計算といいます。

2 帰属計算の例

代表的な帰属計算の例として、持ち家への居住と農家の自家消費があります。

持ち家は賃貸に出せば家賃収入を得ることができるにもかかわらず、自分たちで住んでいるため、経済活動の結果として反映されません。

また、農家の自家消費についても、作物を市場に出せばその分収入を得ることができるにもかかわらず、自らで消費するため、経済活動の結果として表れません。



これらを経済活動とみなしGDPに反映させる操作が、帰属計算です。

【帰属計算の例】





過去問にチャレンジ！

平成28年度第1問ア

国内総生産には、農家の自家消費や持ち家の帰属家賃は含まれない。



農家の自家消費や持ち家の帰属家賃は、市場経済に数値として反映されないが、農産物を市場に出したり、持ち家を貸し出したりすることで収入を得られるため、経済活動が行われたと仮定し、国内総生産（GDP）に組み込むことが行われる。これを帰属計算という。

【編集執筆者紹介】(50音順)

小口 真和 (こぐち まわ)

中小企業診断士。京都市出身。関西学院大学卒業後、日経BP社にて『日経ベンチャー』編集部所属。その後、ハースト婦人画報社を経て、現在TAC中小企業診断士講座専任講師。

鈴木 伸介 (すずき しんすけ)

中小企業診断士。奈良県出身。早稲田大学理工学部を卒業後、教育サービス企業にて人事・秘書に従事。その後、外資系生命保険会社の営業職を経て、2009年中小企業診断士試験合格を機に独立。現在は、TAC中小企業診断士講座の講師として合格までの支援をするほか、インプロバンス代表として各種の講師業も精力的に行う。

仲田 俊一 (なかつ しゅんいち)

中小企業診断士。広告業界でWEBマーケティングを中心とした企画提案業務を経て、中小企業診断士として独立。広告業界での知識と経験を生かし、中小企業向けのWEBサイトのコンサルティングや、シティプロモーションと商店街支援の分野でコンサルタントとセミナー講師として活動中。

夏原 馨 (なつはら かおり)

中小企業診断士。SEから人材業界を経て独立。TAC中小企業診断士講座専任講師（企業経営理論・経営情報システム）。「子どもたちに希望ある未来を手渡す」をテーマに、専門領域であるHR（人事組織）・IT分野を中心に官民両面からコンサルティング・研修の両輪で多くの企業などを支援中。二児の母。

松本 真也 (まつもと しんや)

中小企業診断士。ICU国際基督教大学卒業。芸能プロダクションのアーティストマネージャーとしてキャリアをスタート。その後、Web業界大手に転じ、広告プランナー、人事、経営企画、新規事業開発など幅広く経験を積む。現在は、テクノロジーのわかる診断士として、エンタメ業界やクリエイティブ業界での起業や事業成長をサポートしている。

ほか2名

編集協力：滝澤ななみ

2018年度版

みんなが欲しかった！ 中小企業診断士はじめての一步

発行日 2017 年 9 月 7 日

初版発行

編著者 TAC株式会社（中小企業診断士講座）

発行者 斎藤博明

発行所 TAC株式会社 出版事業部（TAC出版）
〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18

電話（営業） 03-5276-9492

FAX 03-5276-9674

<http://www.tac-school.co.jp/>

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

© TAC 2017

管理コード 07258P-00

〈ご注意〉

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で複製（コピー）、転載、改ざん、公衆送信（ホームページなどに掲載すること（送信可能化）を含む）されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合、および本書を使用して講義・セミナー等を実施する場合には、小社宛許諾を求めてください。